

市外―竹田岡城址・竹田歴史資料館・

愛染堂・あざみ台

十一月二十日（日曜）、今年も秋日和に恵まれ、竹田市教育委員会文化財課・佐伯治氏のご指導のもと、国指定史跡岡城址―竹田歴史資料館―愛宕山願成院本堂愛染堂―あざみ台を巡る市外史跡探訪会が実施された。

新たに発掘整備されつつある広大な岡城址の威容には心打たれるものがあつたが、ことに昭和五十年代以来長期にわたり、身を呈して岡城址の発掘整備にかかわつた佐伯さんの説明は、実証的かつ詳細で、その実直ユーモラスな人となりとあいまって、会員の歴史に対する興味関心をかき立てるのに十分なものがあつた。

赤く色づいた紅葉を愛でながら大手門―桜の馬場―三の丸―本丸―二の丸―家老屋敷跡をたどり、近戸門跡から七曲がりの急坂を経て駐車場へとたどつたが、祖母・傾や久住連山を一望しながらの家老屋敷跡での昼食もまた格別であつた。

岡城址は史跡としては知り尽くされて新味はないと思われがちであるが、史跡の解明に真剣にかかわつた専門家に伴われて探訪すれば、これまで想像もできなかった歴史の世界に、

一步にしても足を踏み入れることができるのだと、つくづく実感させられた探訪であつた。ましてや新城址の発掘されつつある状況の中ではなおさらのことであつた。

愛染堂では、憤怒に燃える愛染明王像や明治初期の神仏分離政策で受難した諸仏の造形美にひかれ、あざみ台では涅槃姿で横たわる阿蘇連山の雄姿に接し、一路別府へと向かつた。



竹瓦温泉にて